このPDFは，CQ出版社発売の「アマチュア無線をはじめよう」の一部分の見本です．
内容･購入方法などにつきましては是非以下のホームページをご覧下さい．
<http://shop.cqpub.co.jp/hanbai/books/15/15241.htm>

6-2　シャックの必需品

シャックは机一つが基本といいましたが，それを運用机，オペレーション・デスク，縮めてオペデスクなどといいます．では，オペデスクの上に置く，無線機以外のシャックの必需品を紹介しましょう．

まず，ブックエンドを用意してオペデスクの上に置き，開局申請のときに作った「アマチュア局関係書類」のファイルと，無線機やアンテナの取扱説明書を立てましょう（**図6-1**）．

法規の項で勉強したように，アマチュア局に備え付けておかなければならない書類には，

- **無線検査簿**
- **無線局免許状**
- **電波法及びこれに基づく命令の集録**（電波法令集）

の三つがあります．このうち，無線局免許状は送られてくるのを待たなければなりませんが，無線検査簿と電波法令集は自ら用意しておくことができます．

まず，**写真6-1**に示す無線検査簿は開局用紙の中に入っている．【5　開局手続きの参考資料】の中に2枚つづりで綴じ込まれていますから，これをはずして「アマチュア局関係書類」のファイルに綴じましょう．無線局免許状が送られてきたら，1枚目の表紙に呼出符号を書き入れます．

電波法令集は，**写真6-2**のように「電波法令抄録」を用意するとよいでしょう．これはハムショップで買えますし，JARLやCQ出版社から直接買うこともできます．なお，この電波法令抄録には有効期限がありますから注意が必要です．

そのほか，無線局免許状が来てQSOを始めるときにすぐに必要になるのがログブックや通称ログと呼ばれるものです．これもハムショップで買えますが，JARLの販売品として直接購入することもできます．

その他に絶対必要なのが，交信の開始と終了時間を知るための時計です．DXで海外の局と交信したいという場合は，世界時計が欲しいところですね．
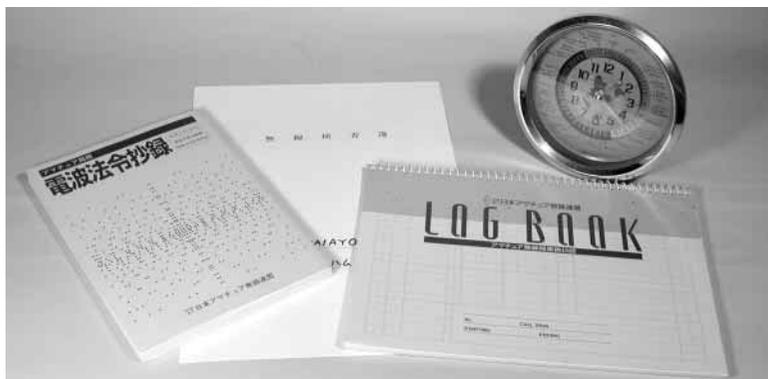
写真6-2　無線局に必要なものは無線検査簿・無線局免許状・電波法令集
ほかに交信記録を記入するログ，さらに時計も用意しておこう．